

令和元年度 事業実施報告書

一般社団法人北陸地域づくり協会

事業名 (個別メニュー)	歴史国道ウォーキングイベント「くりから夢街道」	事業経緯	継 続	実施体制	後 援	担当所属	富山支所・金沢支所
事業名 (大項目)	地域づくり活動促進事業	分類名 (中項目)	地域連携・交流促進支援事業		事業区分	体験活動等	

1. 事業目的

富山・石川県境にそれぞれ位置する小矢部市・津幡町の自主的な住民の力と行政の支援により、歴史上重要な幹線として利用された「歴史国道」を地域の観光資産と位置付け、その歴史的・文化的価値の継承と地域の活性化に資することを目的とする。

2. 事業実施体制

主 催：歴史国道イベント実行委員会、北日本新聞社、北國新聞社
 共 催：北日本放送、北陸放送
 後 援：国土交通省富山河川国道事務所・金沢河川国道事務所、
 小矢部市商工会、津幡町商工会、小矢部市「義仲・巴」推進連絡会、
 津幡町大河ドラマ誘致推進協議会・実行委員会、小矢部市、津幡町、
 小矢部市観光協会、津幡町観光協会、(一社)北陸地域づくり協会
 協 力：倶利伽羅不動寺

3. 事業実施概要

日 時：平成31年4月21日(日) 10:00～14:00
 場 所：源平古戦場、歴史国道、倶利伽羅源平の郷
 概 要：

- ① 山頂セレモニー
挨拶、アトラクション
- ② 大綱引き合戦
・源平合戦をモチーフに、「義仲と巴」の大河ドラマ化を祈念し、
両市町の参加者が紅白の大綱(長さ120m、太さ12cm)を引き合う
- ③ 歴史国道散策
・観光ボランティアガイドによる街道沿線の歴史説明
・茶屋の再現(道中でお茶・団子のサービス)
- ④ 「源平の郷」でのアトラクション
源平の郷の見学、周辺の散策

参加者：295名(津幡町145名、小矢部市150名)

参加費：500円(小学生以下無料)

4. 事業実施による効果(評価・貢献度等)

旧北陸道の倶利伽羅峠は源平合戦の「火牛の計」で有名な地であり、平成7年に『歴史国道』として建設省に認定された。翌8年からウォーキングイベントがスタートし、今回で23回目を数える(H23は東日本大震災のため開催自粛)。小矢部市と津幡町を結ぶ旧北陸道の散策と、倶利伽羅峠山頂での源氏勢と平家勢に見立てた総勢200名が争う大綱引き合戦によって、両市町の住民が歴史国道とふれあい、親しむ交流の推進が図られ、地域の価値をあらためて見直す機会となっている。



山頂セレモニー



大綱引き合戦



歴史国道散策